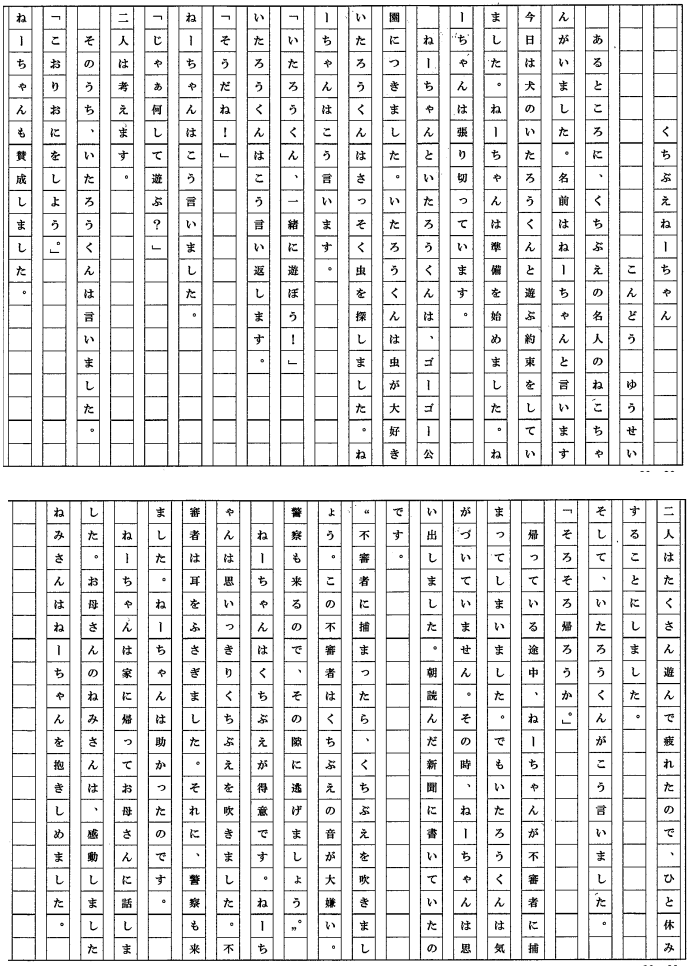
「くちぶえねーちゃん」

かぞくでチャレンジをやってみようと話をしたので「口ぶえねーちゃん」をつくりました。
話をつくるときにすらすら話を考えるのがたいへんだったから二，三日かかってできました。
ぼくがいちばんおすすめのところは，ねーちゃんが口ぶえたいかいでゆうしょうしてみんなでわいわいするところです。
あなたのすきなところはどこですか。
たくさんのひとによんでもらえるとうれしいです。
つぎができるまでたのしみにしててください。



くちぶえねーちゃん

こんどうゆうせい

あるところに、くちぶえの名人のねこちゃんがいました。名前はねーちゃんと言います

今日は犬のいたろうくんと遊ぶ約束をしていました。ねーちゃんは準備を始めました。ねーちゃんは張り切っています。

ねーちゃんといたろうくんは、ゴーゴー公園につきました。いたろうくんは虫が大好きいたろうくんはさっそく虫を探しました。ねーちゃんはこう言います。

「いたろうくん、一緒に遊ぼう！」

いたろうくんはこう言い返します。

「そうだね！」

ねーちゃんはこう言いました。

「じゃあ何して遊ぶ？」

二人は考えます。

そのうち、いたろうくんは言いました。

「こおりおにをしよう。」

ねーちゃんも賛成しました。

二人はたくさん遊んで疲れたので、ひと休みすることにしました。

そして、いたろうくんがこう言いました。

「そろそろ帰ろうか。」

帰っている途中、ねーちゃんが不審者に捕まってしまいました。でもいたろうくんは気がづいていません。その時、ねーちゃんは思い出しました。朝読んだ新聞に書いていたのです。

“不審者に捕まったら、くちぶえを吹きましょう。この不審者はくちぶえの音が大嫌い。警察も来るので、その隙に逃げましょう。”

ねーちゃんはくちぶえが得意です。ねーちゃんは思いっきりくちぶえを吹きました。不審者は耳をふさぎました。それに、警察も来ました。ねーちゃんは助かったのです。

ねーちゃんは家に帰ってお母さんに話しました。お母さんのねみさんは、感動しましたねみさんはねーちゃんを抱きしめました。